

インフルエンザ(2025 年第 52 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 52 週の定点当たり報告数は 22.77(患者報告数 87,534)となり、前週の定点当たり報告数 32.73 よりも減少した。都道府県別では宮崎県(62.57)、鹿児島県(48.00)、佐賀県(39.88)、長崎県(35.84)、徳島県(35.12)、熊本県(35.06)、福岡県(34.46)、高知県(33.92)、大分県(33.76)、島根県(33.70)、愛媛県(32.16)、香川県(30.83)、岡山県(30.10)の順となった。全国 47 都道府県中、1 都道府県では前週の報告数よりも増加し、46 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,401 例であり、前週(1,896 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(78 例)、1～4 歳(190 例)、5～9 歳(138 例)、10 代(90 例)、20 代(30 例)、30 代(27 例)、40 代(26 例)、50 代(63 例)、60 代(101 例)、70 代(203 例)、80 歳以上(455 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 48 週～2025 年第 52 週)では、AH3 亜型が 484 件(94%)、B 型が 23 件(4%)、AH1pdm09 が 6 件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。